

埼玉県 M injikyō D ayori  
民児協だより

Your smile makes everyone happy



再校正  
1/7

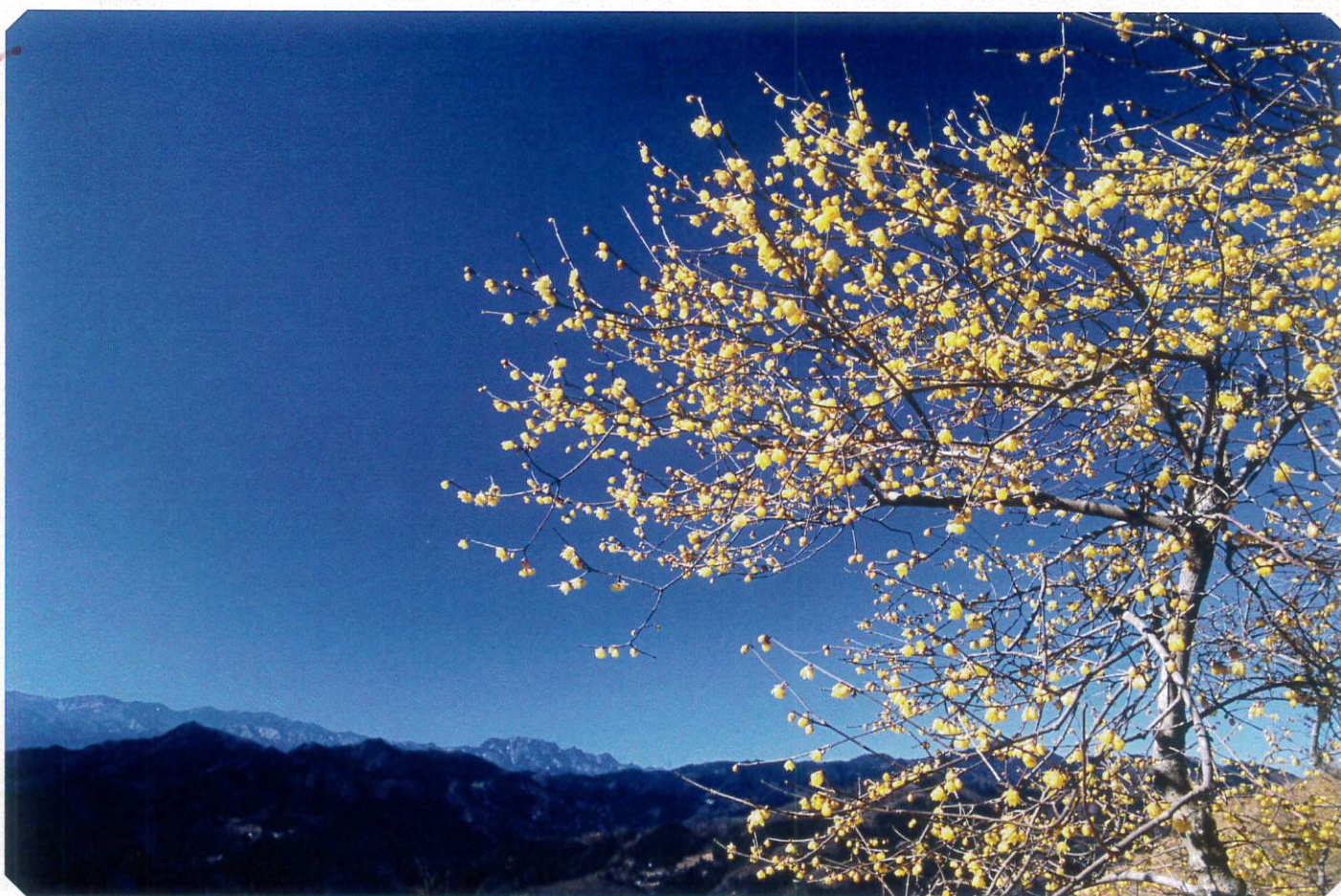


写真 / 宝登山の蠟梅 (提供: 長瀬町)

目次

- 2p……………会長年頭挨拶
- 3p……………知事年頭挨拶
- 4p~5p……………ブロック別会長連絡会議
- 6p~7p……………全国民生委員児童委員大会
- 8p~9p……………共同募金運動ってどんなことに使われているの？
- 10p~11p……………指定民児協活動紹介 (寄居町)
- 12p~13p……………全国民生委員・児童委員リーダー研修会
- 14p~15p……………全国児童委員・主任児童委員活動研修会
- 16p……………ぜひお越しくだ埼玉！ (長瀬町宝登山の蠟梅)、  
栄典受章者、主な予定、編集後記

県民児協  
ホームページも  
ご活用ください！

▶▶ <https://www.saitama-minjikyō.or.jp>

埼玉県民児協だよりでは、「民生委員・児童委員協議会」を「民児協」と表記しています。



この広報紙は、共同募金の配分金により発行されています。







## 令和7年 知事年頭挨拶

# 持続可能で活力ある埼玉を 次世代につなぐ

## 埼玉県知事 大野元裕



明けましておめでとうございます。

民生委員・児童委員の皆様には、それぞれの地域において、高齢者の見守りをはじめ、子育てや介護の悩みを抱えている方、生活にお困りの方への支援などに御尽力いただき、心から感謝申し上げます。

昨年は、渋沢栄一翁が描かれた新一万円札発行を契機と捉え、渋沢翁が埼玉出身であることを大いにPRしました。

また、パリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会などの大会では、県ゆかりの選手が大活躍しました。

県産農産物においても、いちごの「あまりん」、梨の「彩玉」などの受賞が相次ぐなど、本県に強力な追い風が吹いた年でした。

さて、「人口減少・超少子高齢社会の到来」と「激甚化・頻発化する自然災害など、危機への対応」という時代の転換点における2つの歴史的課題に敢然と立ち向かい、中長期的な観点に立った施策を確実に実行していくことが我々の使命です。

人口減少・超少子高齢社会への対応として、「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」による持続可能なまちづくり、社会全体のDX推進による生産性向上、サーキュラーエコノミーの推進、円滑な価格転嫁に向けた支援などを更に推し進めていきます。

また、子どもや子育て当事者の意見を聴き、施策に反映させ、安心して子どもを生み育てられる環境の整備を進めるほか、あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる社会の実現を目指していきます。

さらに、激甚化・頻発化する災害などの危機には、能登半島地震などの検証を踏まえ、入念な備えを進めるとともに、「埼玉版FEMA」の推進により危機管理・災害対応力を強化してまいります。

5か年計画で本県が目指す将来像の実現に向け各取組を更に深化させるとともに、DXの第2段階としてデジタルを前提に従来の仕事のやり方を見直すTXを推進していきます。

今年5月には、本県で全国植樹祭が開催されます。森林・みどりを利用しながら守り育てるとともに、森林資源の循環利用を図る「活樹」に取り組む契機としていきます。

夏には、埼玉初のイノベーション創出拠点「渋沢MIX」を開設します。新たなイノベーションが共創される場となるよう進めてまいります。

今年の干支「巳（み）」のように埼玉県にとって実り多き年となるよう、皆様と共に「ワンチーム埼玉」で県政に取り組み、活力ある埼玉を次世代につないでまいります。



令和6年度

# ブロック別市町村

# 民生委員・児童委員協議会 会長連絡会議 開催報告

埼玉県内の市町村民生委員・児童委員協議会相互の連絡提携を図り、民児協活動ならびに運営上の諸課題について研究協議を深めることを目的とした「令和6年度ブロック別市町村民生委員・児童委員協議会会長連絡会議」が開催されました。

本記事では、会議のテーマ「一斉改選で、欠員をなくすために」に関する議論を中心に、各ブロックでの開催概要を紹介します。

## 協議内容まとめ

### 会議で話し合われた 3つのテーマと主な意見

#### 1. 推薦機関による問題

- ・ 地域の実情把握
- ・ 次期候補者への説明責任
- ・ 相談対応の体制整備
- ・ 次期候補者との信頼関係構築

#### 2. 民生委員活動のマイナスイメージ化

- ・ 重要な役割の周知
- ・ 活動内容の明示
- ・ 誤解・偏見の解消
- ・ やりがい・魅力の発信

#### 3. 次期民生委員候補者が抱える課題

- ・ 活動内容の説明
- ・ 参加しやすい環境整備
- ・ 相談しやすい雰囲気づくり
- ・ 不安軽減

令和7年一斉改選での担い手確保に向けた会長連絡会議では、活発な意見交換が行われました。推薦機関の問題、民生委員活動のマイナスイメージ、次期民生委員候補者が抱える課題、それぞれのテーマについて、各市町村の会長から貴重なご意見をいただきました。

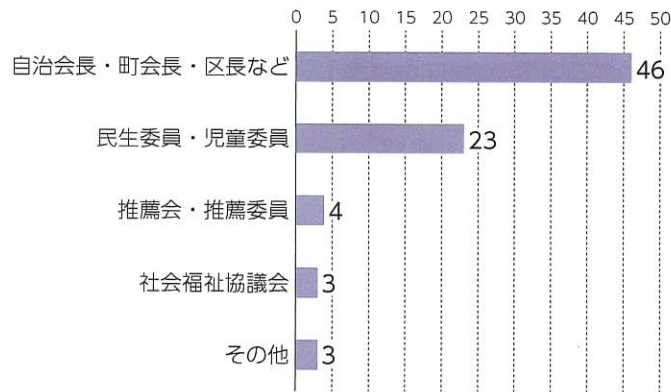
会議では、それぞれの市町村における課題や現状、そして工夫を凝らした取り組みなどが共有され、参加者同士が熱心に耳を傾ける姿が印象的でした。テーマ以外にも、活発な意見交換が行われ、様々な情報が共有されました。

地域の実情に合わせて取り組みはさまざまですが、今回の会議で共有した他の市町村の実態や工夫が、民生委員一人ひとりの活動のヒントとなり、ひいては担い手確保につながることを期待します。

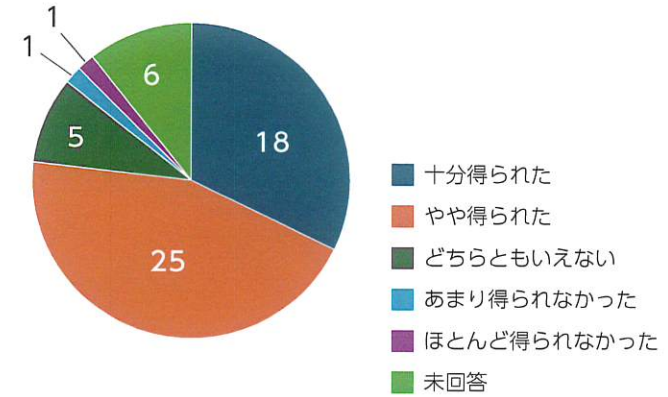
地区民児協支援部会長 藤崎 昇



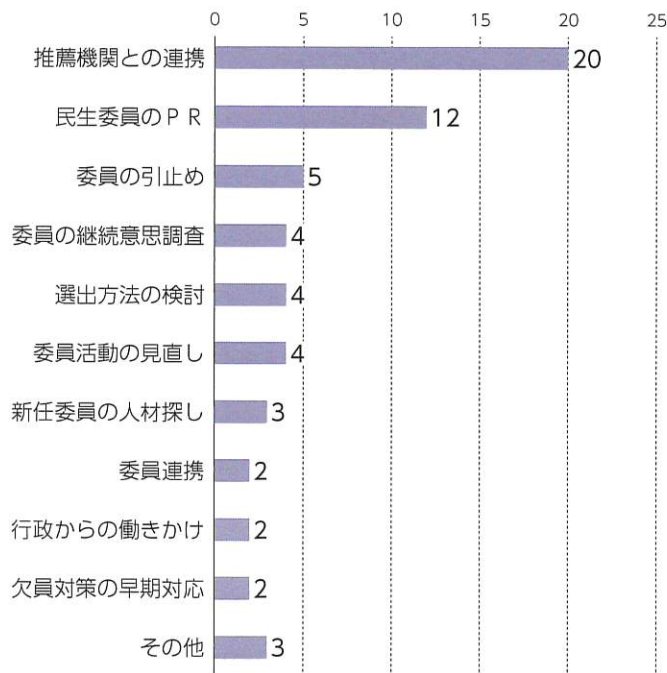
### 民生委員・児童委員を探すのは誰か



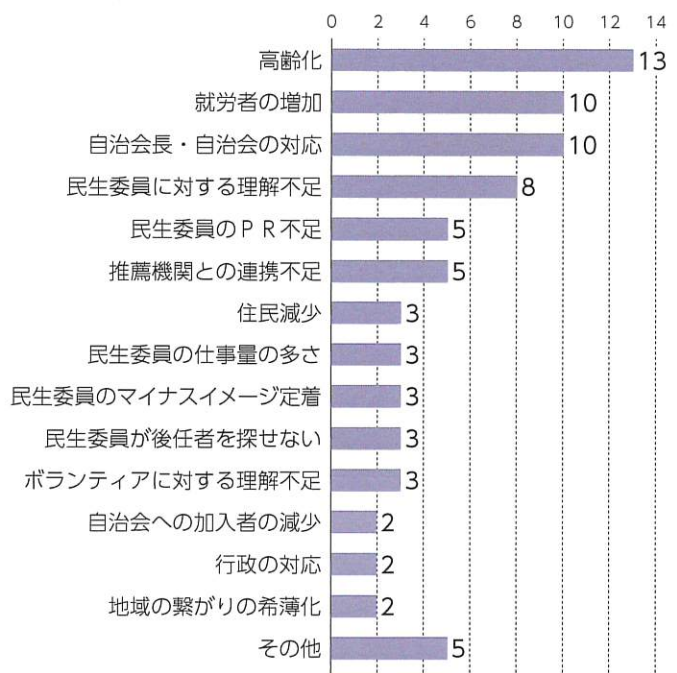
### 一斉改選で欠員をなくす知識を得られたか



### 欠員をなくすために対応していること



### 欠員の原因



西部 (入間市)



東部 (蓮田市)



北部 (深谷市)



南部 (和光市)



令和6年度第93回全国民生委員児童委員大会が宮崎県で開催され、本会から役員13名、県社協職員1名、本会職員2名の計16名が参加しました。宮崎の豊かな風土と歴史に触れながら、飛行機を利用した2泊3日の行程で大会に臨みました。最終日のシンポジウム・活動交流集会では、全国の事例発表が行われ、多方面での取り組みについて理解を深めました。また、埼玉県からは寺田会長と磯部副会長が活動交流集会3にて発表を行いました。この記事では、参加の様子とシンポジウム・活動交流集会の発表概要についてお伝えします。



全国の委員約3,000名が集結

シンポジウム	持続可能な民生委員・児童委員制度・活動に向けて取り組むべきこと
活動交流集会 1	高齢者・障がい者が安心して暮らし続けることができる地域づくり（地域包括支援）
活動交流集会 2	子育て・子育てを応援する地域づくり～主任児童委員制度創設30周年を踏まえた今後の取り組み～
活動交流集会 3	生活困窮者への支援と地域共生社会の実現
活動交流集会 4	民生委員・児童委員活動の推進および民児協機能強化に向けて
活動交流集会 5	災害に備える民生委員・児童委員および民児協組織としての取り組み



埼玉県参加者



埼玉県からも寺田会長・磯部副会長が発表

**みやざき犬**



宮崎県シンボルキャラクターみやざき犬は、宮崎の特産品やゆかりのかぶりもの（日向夏・フェニックス・地鶏）をかぶって宮崎のPRを頑張っている3匹のわんこです。

逆光修正希望



# 令和6年度 第93回 全国民生委員児童委員大会

## 豆知識① 堀切峠

宮崎県で『フェニックス』と呼ばれるヤシの木は、正式にはカナリーヤシといいます。不死鳥フェニックスのように強い生命力を持つことから名付けられ、大正時代から南国ムードを演出するために植えられてきました。



堀切峠



平和の塔

## 豆知識② 平和の塔

平和台公園のシンボル「平和の塔」。高さ36mを誇り、かつては「八紘一宇」の塔と呼ばれていました。今は平和を願うシンボルとなり、公園を見守っています。手を叩くと、鳥のさえずりのような不思議な音が聞こえることでも有名です。



青島

## 豆知識③ 青島

青島を囲む「鬼の洗濯板」。約700万年前の海底が隆起し、波の浸食によってできた自然の造形美です。干潮時には、よりダイナミックな景観を堪能できます。



鵜戸神宮



宮崎神宮





# 共同募金って

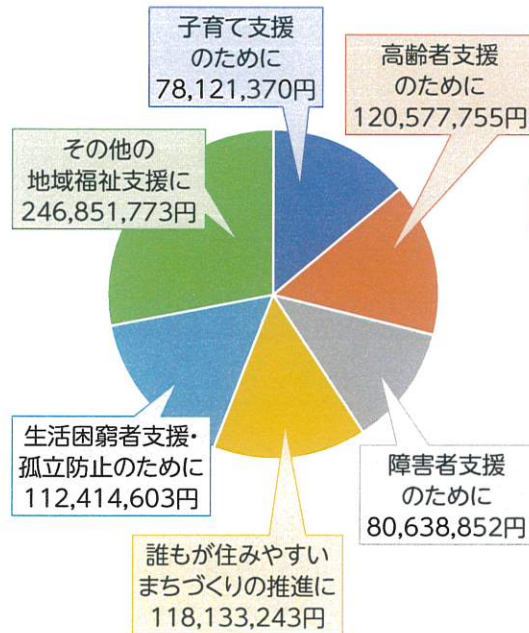
## どんなことに使われているの??

500

1,000

10

100



共同募金は地域福祉のために使われていると言われていますが、皆さんがご存知のように、地域には様々な人が自宅や福祉施設で生活されています。

共同募金の使途について、どのようなイメージをお持ちでしょうか。今月は、皆さんが毎年組織をあげて協力くださっている共同募金の現状や使いみちについて、埼玉県共同募金会の相内よりご紹介いたします。



令和6年度共同募金運動は、民生委員・児童委員の皆さんをはじめ、多くのボランティアに支えられ10月1日から各地域で行われています。



### 施設への送迎用車両の購入に

② 障がい者支援のために  
あゆみ作業所（深谷市）

### 子どもたちの悩みを相談できる環境づくりに

① 子育て支援のために  
さいたまチャイルドライン  
助成分野の数件の事例

シヨンなどを通じて参加者との関係が深まることで、地域での孤立防止につながっています。参加者からは「みんなでご飯を食べるとおいしい」「大勢の人とお話ができる楽しかった」という声をいただいています。

### 一人暮らし高齢者集い事業

民生委員・児童委員が主要なメンバーとなっている地区社会福祉協議会、一人暮らし高齢者集い事業を実施しています。会食やレクリエーションなどを通じて参加者との関係が深まることで、地域での孤立防止につながっています。参加者からは「みんなでご飯を食べるとおいしい」「大勢の人とお話ができる楽しかった」という声をいただいています。

事例紹介  
川越市社会福祉協議会  
また民生委員・児童委員の皆さんが関わっている活動にも共同募金は使われています。



歳末愛情弁当事業



身体的または経済的に困難があり、見守りが必要な高齢者世帯や障がい者が生活する世帯を対象に、ボランティアが調理したお弁当を届けています。

配付を各地区の民生委員にお願いしており、届ける際、ひと声かけることで安否確認と、対象者との定期的なふれあいを持つことができ、在宅生活を支援することにつながっています。



共同募金が県内外の様々な福祉活動に使われていることを紹介してきました。共同募金に対しては、福祉団体からの助成金の要望が年間約9億円寄せられています。

この要望に応えるため、募金額の増額を目指し、キャッシュレス寄付など様々な形で県民の皆様が共同募金に協力できる環境づくりをしてまいります。

スマホからも募金できます!!



フードパントリー活動に

共同募金は、災害が発生した時、被災地の復旧・復興のため、災害ボランティア活動の支援にも使われています。

直近では、令和6年1月1日に発生した能登半島地震でも、全国で集められた共同募金が、石川県と富山県において活用されています。



令和2年は、世界的に新型コロナウイルス感染症が流行し、日本でも、学校が一斉休校となったため、子どもたちは栄養バランスが考えられた給食を食べる機会が無くなりました。また、親の失業などを原因として経済的に困窮した世帯が増えました。

そのような状況下で、共同募金会は「つながりをたやさない社会づくり」をテーマに、生活困窮世帯向けに「フードパントリー活動やバランスの取れた手作りお弁当を配付するなどの生活を支える活動を積極的に支援し、令和5年度までに延べ295団体に対し1億996万4千円を助成しました。



これらに加え、特定の用途に対する助成もありますのでいくつか紹介いたします。児童養護施設で生活する高校生は、奨学金の返済が負担となることから、進学を諦める子どもたちがいる現状があることを知り、平成29年度から大学等への進学のための返済不要の奨学金「赤い羽根進学費用応援プロジェクト」を開始し、令和5年度までに108名の子どもたちの進学を応援してきました。



# ～第25期指定民児協から学ぶ個性～

26

寄居町は、法定単位民児協は1つですが、町内には市街地から山間部まで様々な地域性があります。そのため、それぞれの地域の実情に合わせて、独自に7つの地区に分けて活動しています。

具体的には、市街地、西部、桜沢、折原、鉢形、男衾、用土の7地区があり、それぞれの地区で定例会を開催し、地域課題の解決に向けて取り組んでいます。

地区を分けることで、各地区の委員がより密接に連携を取り

## 地域の実情に合わせた民児協の組織

町民児協では、全員協議会や地区定例会、研修会などを開催し、委員同士が顔の見える関係になることを目指しています。

全員協議会では、年間の活動方針や重要事項を決定します。地区定例会では、各地区の活動報告や情報共有を行い、地域課題の解決に向けた意見交換を行

## 積極的な情報交換と活発な意見交換

また、研修会では、専門的な知識や技能を習得し、委員としての資質向上を図ります。例えば、「生活困窮者自立支援制度」や「里親制度」に関する研修会や、「障がいのある方との接し

方」に関する研修会などを開催しました。

これらの活動を通して、委員同士が積極的に情報交換を行い、活発な意見交換をすることで、地域の実情把握に努めています。

## 寄居町

寄居町民生委員児童委員協議会  
会長 ○○ ○○

【地区の概況】  
(令和7年1月1日現在)

【地区人口】 31,740人  
(男15,791人、女15,949人)

【地区世帯数】 15,135世帯

【地区の特徴】

- ・埼玉県北西部に位置する。
- ・秩父山系の豊かな自然に囲まれ、荒川が流れる。

【単位民児協の構成】

民生委員・児童委員 76名  
主任児童委員 3名



樹齢150年の氏邦桜



# 民児協の“色”

## 相談しやすい 環境づくり

民生委員児童委員は、地域住民の相談相手として、様々な悩みや問題を抱える人々の支援を行っています。

担当区域を任せられた委員は、それぞれが地域の実情把握、生活相談への対応、自立支援など、多岐にわたる役割を担っています。



高齢者部会視察研修

す。「これでいいのか」と自問自答し、プレッシャーを感じている委員も少なくありません。そこで、寄居町民児協では、委員一人ひとりが安心して活動できるように、相談しやすい環境づくりに力を入れています。具体的には、地区定例会などで協議の時間を設け、日々の活動で困っていることや悩んでいることを共有する場を設けてい



児童福祉部会主催研修

ます。この場では、新任の委員が気軽に相談できるよう、また、再任の委員が日頃の活動を振り返り、互いに学び合えるように配慮しています。さらに、「困った時は、気軽に相談できる人を決めておく」など、具体的なアドバイスも行っています。研修会や視察研修を通して、委員同士の交流を深め、互いに



障がい者部会主催研修

助け合える関係を築くことで、孤立を防ぎ、安心して活動できる体制を構築しています。「民生児童委員は一人で悩まないのです。」これは、寄居町民児協で大切にしている想いです。委員同士が支え合い、共に成長していくことを目指しています。





令和6年度

# 全国民生委員・児童委員

## リーダー研修会参加報告

令和6年10月17日から18日、全国民生委員児童委員連合会（全民児連）主催により、千葉県幕張で開催されました。地域共生社会の実現に向け、民生委員・児童委員への期待が高まる中、リーダー層が果たす役割や組織運営の知識を深める内容で構成されました。本稿では、参加された委員よりご報告いただきます。

全国民生委員・児童委員

リーダー研修会に参加して

三郷市民生委員・児童委員

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

兵動 英代

委員歴…〇〇年

委嘱日…〇〇〇〇年〇月〇日

令和6年10月17日と18日に、全国民生委員・児童委員リーダー研修会に参加しました。この研修には全国から154名が集まり、初めは少し不安もありましたが、参加者同士がすぐに打ち解け、同じ経験を共有する仲間意識が芽生えたことで、安心して取り組むこと

ができました。

研修では、厚生労働省やこども家庭庁の行政説明があり、地域福祉や子ども政策の最新動向について学びました。また、桃山学院大学の南友二郎先生からは、リーダーとしての役割についての講義を受け、グループワークを通して意見交換を行いました。特に、民生委員活動を充実させ、継続性を高めるための運営方法について、全国の委員とディスカッションしたことが印象的でした。

グループワークでは、定例会のオンライン化や柔軟な運営方法が提案されました。例えば、渋谷区の事例ではタブレットを活用してペーパーレス化を実現し、効率的な運営を行っています。また、定例会で親睦を深めるためにカラオ

ケを取り入れたり、新任委員が安心して活動を始められるような支援体制を整えたりする事例も紹介されました。

さらに、宝塚大学の日高庸晴先生の講義では、セクシユアルマイノリティに関する人権理解について学びました。無神経な言動が相手を傷つけることや、医療現場での差別の実態を知り、多様性を尊重することの重要性を改めて感じました。こうした知識を深め、誰もが安心して暮らせる社会を目指していきたいと思えます。

今回の研修を通じて、全国の事例から多くの学びを得ることができました。この経験を地域に活かす、欠員の解消や活動の効率化を進め、住民に寄り添う支援を続けていきたいと考えています。



## 全国民生委員・児童委員

### リーダー研修会に参加して

川越市民生委員児童委員協議  
会連合会 大東地区民生委員  
児童委員協議会

○○○○○○○○

小野 妙子

委員歴…○○年

委嘱日…○○○○年○○月○○日

令和6年度全国民生委員・児童委員リーダー研修会に、10月17日（木）～18日（金）の2日間の日程で参加しました。会場は全国社会福祉協議会「灘尾ホール」で、全国各地から多くの民生委員・児童委員が集まりました。

研修では、厚生労働省、こども家庭庁からの行政説明、南友次郎先生によるリーダーとしての役割に関する講義、日高康晴先生によるセクシュアルマイノリティの人權理解に関する講義など、多岐にわたる内容を学びました。

これらの講義やグループワークを通して、多くの学びがありました。特に印象に残ったことを3

点挙げさせていただきます。

#### 1. 多様なニーズへの対応

日高先生の講義では、セクシュアルマイノリティの方々に関する基礎知識から、差別や偏見の実態、そして私たち民生委員・児童委員がどのように支援していくべきか、具体的な事例を交えながら学びました。

近年、セクシュアルマイノリティの方々を取り巻く状況は大きく変化しており、社会全体で理解を深め、差別や偏見をなくしていくことが重要です。私たち民生委員・児童委員も、地域住民の相談相手として、性的マイノリティの方々を含め、あらゆる方の悩みに寄り添い、必要な支援を提供できるよう、常に知識をアップデートし、理解を深めていく必要があると感じました。

#### 2. ICT技術の活用

渋谷区の事例発表では、タブレット端末を導入し、定例会をハイブリッド方式で開催することで、委員の負担軽減に成功しているとのことでした。具体的には、資料の配布や議事録の作成、情報共有などが効率化され、会議時間の短縮にもつながっているそうです。

私たちの地域でも、高齢化や担

い手不足が課題となっており、ICT技術の活用は、これらの課題解決の一助となる可能性を秘めていると感じました。会議のオンライン化や情報共有ツールの活用など、積極的にICT技術を取り入れることで、委員の負担軽減を図り、より多くの住民に寄り添った活動ができるのではないかと考えています。

#### 3. 地域特性に合わせた活動

グループワークでは、各地域の民生委員・児童委員活動の充実と継続性を高めるための工夫について意見交換を行いました。

ある地域では、委員の意見を取り入れ、定例会でカラオケを楽しむことで親睦を深めているそうです。別の地域では、仕事や子育てで忙しい委員のために、夜間や土日定例会を開催するなど、柔軟な運営を行っていました。

これらの事例から、それぞれの地域特性に合わせた活動の重要性を改めて認識しました。私たちの地域でも、地域住民のニーズや委員の状況を把握し、柔軟に対応できるように努めていきたいと思いま

す。

研修で得た学びを活かし、自身の活動を見直し、地域の実情に合わせた活動方法を検討することで、地域住民の皆様にとってより身近で頼りになる存在を目指します。

今回の研修で学んだことを地域に持ち帰り、それぞれの地域に合った形に変えて活用し、よりよい民生委員活動につなげていければ、さらなる発展につながるのではないかと考えます。

民生委員自身がより良い活動をしていくために、まずはいかに負担を減らすか苦痛を取り除けるかが課題だと思料します。できることを、できるときに、できるだけ。



令和6年度

# 全国児童委員・主任児童委員

## 活動研修会参加報告

令和6年8月22日から23日、全国民生委員児童委員連合会（全民児連）主催により、千葉県幕張で開催されました。少子化や核家族化で地域のつながりが希薄化する中、子育て支援の要である児童委員・主任児童委員の役割が注目されています。本稿では、参加された委員よりご報告いただきます。

全国児童委員・主任児童委員活動研修会に参加して

入間市民生委員・児童委員

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

生田由紀子

委員歴・・・〇〇年

委嘱日・・・〇〇〇〇年〇月〇日

令和6年8月22日から23日の2日間、「全国児童委員・主任児童委員活動研修会」に参加しました。この研修には全国から152名が集まり、埼玉県からは私を含む2名が参加しました。初めての経験で少し緊張しましたが、全国の仲間と交流することで意欲を高める

ことができました。

研修初日は、行政説明や講義、パネルディスカッションが行われました。特に、こども家庭庁の高根沢景氏からは「こどもの健全育成と主任児童委員活動」に関するお話を伺い、私たちが地域でこどもの声を代弁し、政策に反映させる役割を担っていることを再認識しました。また、聖隷クリストファー大学の泉谷朋子先生の講義では、主任児童委員として子育て支援に取り組む際の課題や連携の重要性について学び、民児協の一員としての責任感を新たにしました。

2日目の分散会では、「主任児童委員制度30周年を迎えた今後の取り組み」をテーマに、各地域の課題や取り組みについて意見交換を

行いました。中でも、「主任児童委員、生かすも殺すも会長次第」という意見が印象的でした。会長との信頼関係が活動の鍵であり、情報共有や連携を深めることの大切さを改めて感じました。

また、地域の子育て支援策として、母子手帳交付時の訪問や企業による町おこしの事例が紹介されました。これらの取り組みは、地域住民とのつながりを強化し、助け合いの輪を広げるヒントとなりました。

今回の研修を通じて、主任児童委員の役割と責任を改めて理解しました。「報告・連絡・相談」を大切にしながら、子どもや保護者の声に耳を傾け、同僚や先輩と協力して地域の支援体制を強化していきたいと思えます。







ぜひお越しくだ埼玉！—今から間に合う埼玉の旬な観光を紹介します—

ながとろまち ほ ど さん ろうばい  
長瀨町 宝登山の臘梅

早春の陽光を浴び、透きとおるような淡い黄色の花を咲かせる臘梅。

標高497mの宝登山山頂にある臘梅園には、例年1月中旬～2月下旬にかけて約800株（約3,000本）の臘梅が咲き誇り、英名「Winter Sweet（ウィンタースウィート）」と呼ばれるほどの濃厚な甘い香りに包まれます。

また、眼下には秩父盆地が広がり、周囲に目を向けると秩父の山々がそびえ、秩父のシンボル「武甲山」、鋸状の山容をした「両神山」などを見ることができます。



アクセス

◆電車の場合

最寄り駅：秩父鉄道長瀨駅  
宝登山ロープウェイ（山麓駅）  
まで徒歩約20分

◆車の場合

国道140号線長瀨駅前交差点を宝登山方面へ曲がり直進。  
宝登山神社前（環状交差点）を左折。  
宝登山ロープウェイ（山麓駅）下駐車場（有料）をご利用ください。  
※上記、駐車場が混雑している場合は、参道沿い・長瀨駅周辺の駐車場（有料）をご利用ください。

長瀨町



「民生委員・児童委員の声」原稿募集中

提出先 〒330-0075 さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65  
彩の国すこやかプラザ  
一般財団法人  
埼玉県民生委員・児童委員協議会 広報係宛

今後の予定	
2月	
3月	
4月	

▼179号は県民児協  
広報部Dチームで  
編集、校正しました。

部 会 員	部 会 員	部 会 員	副 部 会 長	副 部 会 長	部 会 長
吉 田	岩 田	矢 野	大 島	藤 野	志 子 田
豊	利 一	幹 夫	幸 雄	美 佐 子	健 一

編集後記

埼玉県民児協だより No.179号  
令和7年2月1日発行

（発行人）寺田治子（編集人）志子田健一  
（発行所）一般財団法人埼玉県民生委員・児童委員協議会  
彩の国すこやかプラザ内

TEL 330-0075 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65  
TEL 048(822)1197 FAX 048(824)6586